

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@ns.kagawa-
gyoren.or.jp



JF
J F 香川漁連

高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

水産関係団体通常総会終わる

平成 15 年度の水産関係団体通常総会は、5 月 26 日の(社)水産振興協会をかわきりに、5 月 28 日・漁業信用基金協会、6 月 20 日・漁船保険組合(総代会)、24 日・共水連推進本部、漁業共済組合、27 日・漁連、信漁連の総会がそれぞれ漁連会館 6 階大会議室で開催され、各団体とも提出された議案は全て原案どおり可決承認されました。

【漁連総会】

服部代表理事会長の開会挨拶につづき、真鍋香川県知事の来賓挨拶があり、議長に仁尾町漁協の大平組合長を選任し、上程された議案はすべて原案どおり可決承認されました。

平成 14 年度全般的事業の概況

依然として厳しい漁業経営環境の下で、平成 14 年度における本県水産業を振り返ってみますと、ハマチ・カンパチを中心とする魚類養殖業は、夏場の赤潮被害もなく、県内産ハマチは 1 月下旬に出荷を終了出来ましたが、市況の低迷により厳しい結果となりました。

また、ノリ養殖業は、秋の降雨不足等が影響し栄養塩が低い状態で生産が開始され、近年になく早い色落ちの発生により、生産枚数は前年比 63%、生産額は前年比 59%の実績となりました。

また、カタクチイワシ漁は、本年度は数量で前年比 129%、金額で前年比 135%と好実績となりましたが、漁船漁業全体としては、依然として漁獲不振と魚価の低迷が続いています。

こうした状況のもと、本年度経済事業取扱高は、前年比 93%の 559 億円と厳しい結果となりましたが、これは乾ノリの不振、またノリ資材類の取扱減が主な要因です。

収支状況は、経営利益で前年比 56%の 3 億 2,156 万円と大きく前年を下回りました。

その他、漁船漁業対策として、資源回復に向けての各種会議・検討会を開催し、特にサワラの資源回復計画に取組むとともに、本年度より香川県水産振興協会に移管した大型種苗の放流事業に協力し、より効果的な資源管理型漁業の推進に努めました。

さらに、漁業系統事業・組織基盤の強化を図るため、「組織強化推進室」を中心に 5 地区で合併推進協議会を開催し、合併・事業統合の取組みを推進し年度内に 3 件の合併が実現できました。

会員をはじめ関係各位のご協力に深く感謝申し上げます。

平成 15 年度基本方針

1. 漁協が自立し得る事業基盤の確立を目指し、「組織強化推進室」を中心に合併・事業統合等に取組めます。
2. 漁船漁業振興対策として、資源回復計画の策定、多元的資源管理型漁業を推進するとともに香川県水産振興協会で実施する大型種苗の放流事業に協力します。
3. ハマチをはじめとする県内水産物の PR 並びに販路開拓・消費拡大に努めます。
4. 魚類養殖の種苗及び餌料の良質・適正価格での安定供給並びに魚価の安定と拡販に努めます。
5. 本県ノリ養殖漁場に適合した優良品種の育成、種網の早期・安定供給とノリ共販事業の合理化に努めます。

以上の事項を重点に、積極的かつ効率的な事業運営を行いますので、会員をはじめ関係各位のご協力をお願いいたします。

また、役員の新補欠選任が行われ、次の方が選任されました。

選任された新役員

理 事 廣 田 香 (丸亀市漁協長)



通常総会で挨拶する服部会長

第24回全国豊かな海づくり大会 香川県水産団体推進協議会を設立

6月27日(金)に漁連会館6階で「第24回全国豊かな海づくり大会香川県水産団体推進協議会」の設立総会が開催され、会長に服部県漁連会長、副会長に田村信漁連会長が選任され、各議案原案通り承認されました。

この協議会は、来年10月3日に高松市で開催される「第24回全国豊かな海づくり大会」の円滑な実施を図るため、水産関係団体が協力して、香川県が設置している同実行委員会と連携を密にし大会に必要な事業を行うことを目的とするものです。

組織・業務の概要及び委員名簿は下記の通りです。

1. 構成団体

1) 県下漁業協同組合

2) 水産系統団体

香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、(社)香川県水産振興協会、香川県漁業信用基金協会、香川県漁業共済組合、全国共済水産業協同組合連合会香川県事務所、香川県漁船保険組合、(財)香川県水産振興基金、香川県漁協女性部連合会、香川県青年漁業士会

3) 業種別団体

香川県かん水養殖漁業協同組合、香川県海苔養殖研究会

4) その他必要と認める団体

2. 事務局 香川県漁業協同組合連合会

3. 事業推進体制

1) 協議会は、役員会において設立目的にある事業の内容等を審議するとともに、幹事会を設置し具体的実施計画の策定及びその推進を図る。

2) 幹事会に各作業部会を置き、次に掲げる業務を行う。

4. 業務内容(作業部会)

部会名	主な業務内容
総務部会	・水産系統団体負担金の徴収 ・式典招待者名簿の作成 ・大会ボランティアの育成、各種参加等

海上歓迎行事部会	・漁船パレードの企画、運営 ・係留歓迎船企画、運営 ・放流行事への参画 ・御受者の選定等
関連行事部会	・テーマ館への資料提供、展示の実施への協力 ・各種関連行事への協力等
作品募集部会	・絵画及び習字の作品募集等

5. 委員名簿

会 長	服部 郁弘	香川県漁業協同組合連合会代表理事会長
副会長	田村 敦市	香川県信用漁業協同組合連合会代表理事会長
委 員	名和 基延	香川県東部漁業協同組合連合会代表理事会長
"	地濱 稔	高松市漁業協同組合連絡協議会会長
"	柳生 忠	小豆地区漁業組合連絡協議会会長
"	洲賀崎 久	中讃地区漁業組合連合会会長
"	小濱 福重	三豊郡漁業組合連合会会長
"	服部 郁弘	(社)香川県水産振興協会会長
"	宮本 恵百	香川県漁業信用基金協会理事長
"	嶋野 勝路	香川県漁業共済組合組合長理事
"	東原 繁春	全国共済水産業協同組合連合会香川県事務所所長
"	柳生 忠	香川県漁船保険組合組合長理事
"	服部 郁弘	(財)香川県水産振興基金理事長
"	岡田 和子	香川県漁協女性部連合会会長
"	明石 博行	香川県青年漁業士会会長

大会キャラクター はまうみくん



大会テーマ

青い海 守る心に 豊かな未来

「アクション・プログラム香川県版」が決定!!

去る 4 月 16 日漁連会館 6 階大会議室において、「アクション・プログラム香川県版(案)の策定に係る周知会」におきまして周知しました『アクション・プログラム香川県版(案)』は、各組合長からのご回答をもち、原案通り決定いたしました。

これを基に、【JFグループの事業・組織・経営改革に向けた運動方針】の実現に向け、全漁協を挙げでの取り組みをお願いいたします。

『アクション・プログラム香川県版』の項目は下記のとおりです。なお、詳細な内容については、後日、全国版と共に指導部組織課より、送付いたします香川県版をご覧ください。

合併構想の実現と合併JFの機能・体制の整備

- 1. [1県1漁協]又は[複数自立漁協]の早期構築
- 2. 県連組織の改革

経営改革の推進(合併を通じた改革)

- 1. 事業・経営の見直しとコストの削減
- 2. 欠損金・固定化債権の解消と財務基盤の強化
- 3. 信用事業のセーフティーネット構築
- 4. コンプライアンスとリスク管理体制の構築
- 5. 情報システムの整備・活用
- 6. 合併JFの人づくり
- 7. 理事の権限と責任の明確化
- 8. 監事監査体制の整備

事業改革の推進(合併を通じた改革) “組合員から支持される魅力ある事業づくりと「全利用運動」の推進”

- 1. 販売事業の改革
- 2. 購買事業の改革
- 3. 信用事業の改革
- 4. JF共済事業の改革
- 5. ぎよさい事業の改革
- 6. 漁船保険事業の強化
- 7. 指導事業の強化

組合員の運動参加促進と組織の活性化

- 1. 組合員の運動参加の促進
- 2. 漁協活動への理解促進と地域との連携
- 3. 農協等との連携
- 4. 漁村地域の活性化

政策要望の実現に向けた運動展開

- ・政策要望の実現
- ・運動の進捗状況の把握と改革推進

新しい組合長紹介

(敬称略)

志度漁協

新任 松原信義
(平成15年5月29日付)

退任 松原友一



王越漁協

新任 大越義富
(平成15年5月30日付)

退任 大和義包



主な行事予定(7/1~7/31)

- 7月 1日(火) 香川県資源管理型漁業実践会議
海難防止強調運動高松・坂手地区推進連絡会
漁協簿記・会計学実務研修
(1・3・8・10・15・17日)
- 2日(水) 購買担当者会議
- 7日(月) 平成16年度職員採用試験
- 8日(火) 香川県かん水養殖漁業協同組合理事会
- 11日(金) 漁連理事会・監事会
のり研委員会
- 15日(火) 漁協女性部長・事務局担当者合同会議
全国漁連のり事業推進協議会
(東京)
- 25日(金) 香川県かん水養殖漁業協同組合通常総会